

# 「富士に学べ」



令和6年4月11日

## 『入学式が盛大に挙行されました』

4月5日（金）の午前中に令和6年度の入学式が行われました。あいにくの天候ではありましたが、227名の新入生が、真新しい制服に包まれ、元気いっぱいに登校してきました。新入生代表の中島杏樹さんが、これから始まる中学校生活に対する決意と想いを堂々と述べることができました。また、午後に行われた新任式と始業式では、2、3年生が凛とした雰囲気の中で始業式を行い、新学年での決意を新たにしていました。お子様がより良く学校生活を送ることができるよう、職員一同邁進してまいります。保護者の皆様のご理解及びご協力をよろしくお願いいたします。



### 誓いの言葉

（前略）

富士中学校には素敵な校歌があります。この校歌には、「まことの道を拓くべし」「文化の花を咲かすべし」「理想の実をば結ぶべし」この3つの言葉が入っています。私はこの言葉に、どのような意味が込められているのか考えてみました。一つ目の、まことの道を拓くべしには、勉強や部活動を真面目に取り組み、精進していく。二つ目の、文化の花を咲かすべしには、芸術やスポーツを通して、勉強では得られない経験をし、仲間と感動を分かち合っていく、三つ目の、理想の実をば結ぶべしには、どんな困難にぶつかったとしても希望を忘れず、自分を信じて進んでいくことで、夢を叶えることができる、このような意味が込められていると思います。なので、これからの中学校生活では、文武両道に励み、みんなで力を合わせて、夢を追い続け、目標に向かって成長していきます。（中略）

私たちは、互いを信頼し合い、困った時には助け合える人間関係を築いていきます。そして、それぞれの目標に向け、笑顔で大きく羽ばたくために、本日この気持ちを忘れず、仲間たちと学校生活を楽しみ、共に努力し、共に励まし合い、共に高め合うことをここに誓います。

新入生代表

### 校長式辞（一部抜粋）

学校教育目標「しなやかに 挑み続ける」には、今後予測不能で変化の激しい時代を生きていく皆さんに、仲間とともに柔軟に対応していく「しなやかさ」と、困難にぶつかったときに簡単にあきらめず、突き進む粘り強さを持って「挑み続ける」たくましさをつけてほしいという願いが込められています。（中略）

中学生時代は、「人生の土台づくり」と言われ、基礎基本を身に付ける大切な三年間となります。体の成長だけではなく、心も大きく成長します。その三年間を、どんな気持ちで、何を頑張るかは、その後の人生に大きく影響します。小さな努力を積み重ね、自分の力で立派な土台をつくってください。（中略）

「夢無き者に成功なし。志を立てて挑戦せよ」これは、幕末の偉人吉田松陰という人の言葉です。「夢は見るものではなく、叶えるもの」これは、女子サッカーワールドカップで優勝した時に日本代表のキャプテンを務めた澤（さわ）穂（ほ）希（まれ）選手の言葉です。自分が何を頑張りたいのか、何になりたいのか、目標を持ち、そのために懸命に努力していくこと、それが成長につながり、結果として現れるということなのです。皆さんが中学校三年間を、目標に向かって、生き生きと充実した時間を過ごせるようエールを贈り、式辞といたします。